

1月29日、名古屋地本は会社から「三重支店」「飯田支店」の業務執行体制の見直しについて提案を受けました。詳細は以下に記しますが、三重支店の現業機関を東海鉄道本部に移管するというものです。地本は問題点等を質問しました。後日、申し入れを行うことを確認しました。

#### 会社提案

「三重支店」「飯田支店」の業務執行体制の見直しについて  
「三重支店」「飯田支店」の非現業部門における業務執行体制を下記の通り見直す。

#### 1 目的

現場管理・指導体制を一元化し、非現業部門の重複業務を整理統合することによって、より一層円滑に業務を遂行するため。

#### 2 概要

##### (1) 三重支店

- ・ 所管する非現業を東海鉄道本部（直轄）に移管する。
- ・ 課（管理課、運輸課、工務課）を廃止する。
- ・ 体制見直し後は、三重県内の自治体等部外対応業務、総務・広報業務、名松線復旧関連業務を行う。

##### (2) 飯田支店

- ・ 飯田駅と合わせた体制とする。
- ・ 体制見直し後は、長野県内（飯田線沿線）の自治体等部外対応業務を行う。

#### 3 実施時期

平成26年定期異動時期

#### 4 その他

要員増減については別途提示する。

#### 具体的な議論

組合 非常に重大な提案である。今日疑問点を解明するとともに、早急に申し入れを行う。

会社 了解した。

組合 なぜ、この時期に統合するのか。目的に書かれている理由だけならば10年前でもよかったではないのか。

会社 業務が重複することが多くなったので見直すこととした。

組合 目的は円滑に業務を遂行することではなく、効率化でないのか。何か不都合があったのか。

会社 業務などの体制は常々に見直していくものである。

組合 中央新幹線建設のためには無駄を省くと言っているが、そのための効率化でないのか。

会社 企業は常に効率化を追求していくものである。  
組合 では、逆に聞くが、なぜ三重支店が必要だったのか。  
会社 JR発足当時は、三重地区は天王寺局であり、名鉄局とは規定も違い、気質も違っていたので必要だった。  
組合 災害を考えた場合には、その地区に精通した社員がいる支店が必要ではないのか。  
会社 現行も指令など運行管理は鉄事が行っている。  
組合 三重独自の物事が発生したり、サービスが低下する可能性もあるのではないのか。  
会社 重複することを一元化するだけだ。  
組合 自治体には、この提案の説明はしたのか。  
会社 順次やっている。  
組合 現行、三重支店は何人体制なのか。  
会社 27名である。  
組合 支店長は残るのか。  
会社 残ります。  
組合 鉄事に統合されることにより、遠距離転勤の発生が多くなるのではないのか。  
会社 今も、支店との転勤は発生している。転勤は総合的に勘案する。  
組合 飯田支店の飯田駅と合わせた体制とは何を意味するのか。  
会社 支店長の業務を飯田駅長が行うことになる。  
組合 飯田支店では三重支店とは違い広報業務がないが行わないのか。  
会社 直轄で行っているので問題はない。  
組合 早急に申し入れを行うので、会議を設定すること。

以 上